

最近の薬液注入工法技術研究発表会

「恒久グラウト・本設注入」と「液状化対策」

～平成14年度社団法人地盤工学会技術開発賞受賞技術～

主催：地盤注入開発機構

恒久グラウト・本設注入協会
複合注入工法研究会
シリカゾルグラウト会
マルチパッカ工法協会
強化土グループ

謹啓、時下益々ご清祥の段、大慶に存じます。

平素は、弊機構に関し格別のご高配を賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

弊機構は「薬液注入の長期耐久性の研究」を1982年東洋大学米倉研究室と産学共同によってスタートし、40年経過した今日に到るまでその研究は脈々と継承して参りました。その研究成果は、耐久性のメカニズム解明、恒久グラウトの開発、急速浸透注入工法の開発、マスキングシリカの開発とその既設構造物保護機能の実証等環境保全注入技術が導入されるなど目覚ましいものがあります。今や薬液注入工法は従来の仮設目的から「恒久グラウト・本設注入」へと質的転換を遂げました。

恒久グラウト・本設注入工法は液状化対策工、恒久止水、基礎の高強度恒久補強等に新しい地盤改良工法として多数採用され施工実績は2,000件以上、注入実績にして10億リットル以上に達し、需要が拡大しております。2011年の東日本大震災に際しても施工箇所について確認された限りにおいて液状化被害は皆無であり、その効果が改めて実証されました。

これらの研究は既に平成14年度公益社団法人地盤工学会より「恒久グラウトと注入技術」として技術開発賞（米倉亮三・島田俊介）の評価を頂いております。

さて、弊機構は、昭和58年以来関連する産官学および関連研究会のご協力を得まして、全国各地にて、標記「最近の薬液注入工法技術」の研究発表会を開催して参りました。今回は「地震と液状化対策工」として、東京都市大学教授・末政直晃先生に特別講演をお願いし、経験豊富な機構の技術陣が「恒久グラウトによる本設注入と液状化対策」の発表を致します。

ご多忙中誠に恐縮には存じますが、ご出席賜ります様ご案内申し上げます。

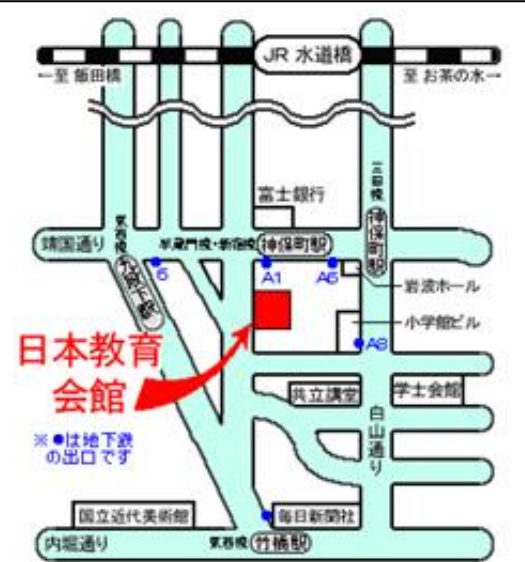
謹白

令和5年9月

地盤注入開発機構
会長 和田 康夫
実行委員長 関 昌則

- 日時：令和5年10月25日（水）
受付：12時30分～12時55分
開会：13時00分
閉会：17時00分
- 会場：日本教育会館（第一会議室）
東京都千代田区一ツ橋2-6-2 TEL：03-3230-2831
- 会費：無料
- 連絡先：地盤注入開発機構 事務局
東京都文京区本郷2-3-9 ジャテック（株）内
TEL：03-3815-2162 FAX：03-3815-2102
[担当] 山下・引地

技術研究発表会についてのお問合せは上記迄ご連絡下さい。
同封用紙による出欠のご返事は、会場準備の都合上
10月3日（火）までにFAXにてお願い致します。
尚、座席数の都合上定員になり次第締め切らせて頂く場合
がありますのでご容赦ください。



※ 駐車場の設備がありませんので、電車等をご利用ください。

「最近の薬液注入工法技術研究発表会」

日時：令和5年10月25日

場所：日本教育会館

プログラム

受付 12:30

開会 13:00

1. 開会 (13:00～13:01)

実行委員長 地盤注入開発機構 関東支部長 関 昌則

2. 開会挨拶 (13:01～13:05)

地盤注入開発機構 会長 和田 康夫

3. 特別講演「地震と液状化対策工」(13:05～13:55)

東京都市大学 建築都市デザイン学部 学部長・教授 博士（工学） 末政 直晃

4. 恒久グラウト注入工法と施工管理 (13:55～16:10)

4-1. 恒久グラウト注入工法による地盤改良技術 (13:55～14:45)

地盤注入開発機構 技術委員長 強化土エンジニアリング（株） 博士（工学） 佐々木 隆光

4-2. 超多点注入工法 (14:45～15:10)

地盤注入開発機構 技術委員 日本基礎技術（株） 京田 裕二

— 休憩 (15:10～15:20) —

4-3. エキスパッカ工法 (15:20～15:45)

地盤注入開発機構 技術委員 日特建設（株） 吉田 豊一郎

4-4. マルチストレーナ工法 (15:45～16:10)

地盤注入開発機構 技術委員 三信建設工業（株） 本谷 洋二

5. 恒久グラウトの施工例(16:10～16:50)

液状化防止注入協会 技術委員 若築建設（株） 博士（工学） 水野 健太

6. 質疑応答・閉会の辞 (16:50～17:00)

尚、公益社団法人地盤工学会の特別会員であります弊機構の発表会は CPD プログラムに認定されております。是非、積極的なご活用をお願い致します。

公益社団法人 地盤工学会 CPD認定単位 3.5ポイント

※【参考書籍】

「薬液注入の長期耐久性と恒久グラウト本設注入工法の設計施工」—環境保全型液状化対策工と品質管理—

（米倉亮三・島田俊介 著）

（発行所：近代科学社 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-7-15 TEL 03-3260-6161）

参加申込書

FAX 03-3815-2102

※ 10月3日 (火) 必着

地盤注入開発機構事務局(ジャテック株式会社内)
「最近の薬液注入工法技術研究発表会」行き

主催 : 地盤注入開発機構

「最近の薬液注入工法技術研究発表会」

日時 : 令和5年10月25日(水) 12:30 受付開始 13:00 開会

場所 : 日本教育会館(第一会議室)

ご出席者の記入欄

貴社名				
住所	〒			
電話		FAX		
ご出席者氏名	所属部署	役職	E-mail	CPDプログラム認定書
				必要・不必要
				必要・不必要
				必要・不必要
				必要・不必要
				必要・不必要
通信欄				

注 : お預かりした個人情報につきましては、弊機構の発表会事業等、ご案内に使用させて頂くことがあります。

※【参考書籍】(当日持参頂く必要はありません)

「薬液注入の長期耐久性と恒久グラウト本設注入工法の設計施工」—環境保全型液状化対策工と品質管理—
(米倉亮三・島田俊介 著) 近代科学社

【受付】返信用FAXを送付頂いた時点で受付名簿に登録させていただきます。

なお、当日のご案内は改めて致しませんので、ご注意ならびにご了承の程お願い申し上げます。

また、人数超過の場合は、期日前に締め切らせて頂く場合があります。

※駐車場の設備がありませんので、公共交通機関でのご利用をお願い申し上げます。

※ご不明な点がございましたら、事務局 (TEL : 03-3815-2162) までお問い合わせください。

社会情勢(新型コロナウイルスの影響)等により、講演を急遽中止する場合も御座いますので
前日には地盤注入開発機構HP (<https://www.jckk.jp/>)より、一度確認をお願い致します。